

多文化の尊重を「自分ごと化」

～探究的な方法を通して～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今日のゴール

多文化共生社会について考える

グラントルール

- ①はっきりとした声で話し合いをすること
- ②間違っても良いので
自分の意見を述べること
- ③チームで協力をすること
- ④他者を認め、受容すること

題材

「地域社会に住む外国人が
よりよく生きるためには
どうしたら良いか？」

論点は2つある

外国人が地域社会で生活する時、
困ることは？

地域社会で誰もがよりよく
生活していくためには？

アプローチ方法

「WHY」は物事の本質のゴール！

1st 発想

何を問題にするのか？
その理由は？

2st 整理

対象は？
いつ(どこ)のことを考える？

3st 知識

多文化共生の何を
ターゲットにする？

6W2Hを意識させるが

4st 問いづくり

1st～3stを繋ぐ

「WHY(なぜ?)」は最初はあまり使わない様に指示

→オープンな問いになりすぎるのでクローズな問いから考える。

グループで意見の交換をしよう(2分)

題材

宮城県の外国籍児童生徒は
何に困っているのか？

メモを取りながら、考えてみよう。

<韓国 小学校1年生>

- ◇最初は日本語が話せず、コミュニケーションを取れなかった。
- ◇言葉が通じず、ストレスがあり、泣いたり走ったりする。

<アメリカ 小学校4年生>

- ◇語彙力が少ない。漢字が読めない。
- ◇文章題では、何が問われているか分からない。
- ◇クリスチャンで七夕の行事に参加しようとしなない

<フィリピン 中学生>

- ◇日本語は会話程度
- ◇来日前に日本の生活がイメージできない
- ◇言葉が通じないので些細なことで喧嘩になる。
- ◇母親が日常会話程度しかできないので、学校の連絡が伝わらない。

<インドネシア 小学生>

- ◇イスラムの習慣で食べ物に制限がある。
- ◇給食でおにぎりが食べられるが、パンは食べられない。
- ◇ラマダーンの時、飲食できない。
- ◇肌を出すのが禁止、水泳の授業ができない。
- ◇女子生徒が男子教員が指導するのに抵抗がある。

<中国 中学生>

- ◇実技教科が中国では重視されないので戸惑う
- ◇「通訳の人に依存してしまっている」
- ◇父親が教育に関わってくれなく、通訳を通して母親に連絡が行くので、細かい連絡が取れない
- ◇母親が部活動や課外活動に積極的に関わろうとしない

宮城県の外国籍児童生徒は何に困ってるのか？

ブレインストーミング TIME (3 分)

「自分しか思いつかないアイデア」が出てくる

どうでもよいアイデアでも出しつくす!□

ORIDを利用した思考のワーク

外国人がどのような気持ちで生活しているか、そして君たち自身どのように感じたのか考えてみよう。

ORID ～内省から行動へ～

事実 Objective	感情	解釈	決定
印象に残った言葉	外国人に対してどのように思ったのか？	外国人が日本で生活する場合、支援として何が必要だと思いますか？自分の経験も入れながら考えてください。	外国人と共生する社会を作るため、皆さんができる「とても小さな一歩」は何ですか？
印象に残ったキーワード			
その理由？			

グループで意見の交換をしよう(2分)

NHK for Schoolの視聴 「言葉の壁」

外国人が悩む言葉の壁について動画を見よう。
そして、思ったことをグループで共有してみよう

グループ活動

- ①多文化共生に向けての理想の
ゴールの設定する。
- ②それに向けてのアクションプラン
を考える。
- ③「今、自分が何をすべきか」を考える。

課題解決に向けての活動

多文化共生に向けての理想のゴール

ゴールから考えていかない
といいつまでも終わらない
!

アクションプラン

今、何をすべきか？

まとめ

授業を通して気がついたこと、そして、これから地域社会における多文化共生を進めるにあたり自分自身にどのような可能性があるのか考えてみよう。